

## 令和2年度長浜水道企業団水道事業会計予算の概要

## 長浜水道企業団

## 1. 予算の概要

令和2年度は、新地域水道ビジョンに基づき、水道事業と簡易水道の統廃合を行うための施設整備、取水施設の設計業務、建設工事を行います。

財政状況は極めて厳しく、高月上水道事業、木之本上水道事業、余呉木之本簡易水道、西浅井簡易水道は赤字予算となっています。木之本上水道事業は2億円を超える累積赤字で、西浅井簡易水道事業も累積赤字となる見込みです。

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
収入	1,609,179	151,539	231,019	145,380	205,809	178,348	117,205	86,860
支出	1,324,744	109,022	204,862	129,187	223,081	202,298	128,129	102,747
差引	284,435	42,517	26,157	16,193	△17,272	△23,950	△10,924	△15,887
累積	993,255	206,998	148,106	321,430	184,754	△223,354	43,410	△8,289

## 2. 業務の予定量

人口の減少や大口利用者の地下水転換により水道使用量は減少を続けています。消費税の増税により水道料金収入が増加する見込みですが、有収水量の減少が大きい区域では水道料金収入が減少しています。企業団水道事業区域以外では、漏水が多発し、有収率が低く、漏水調査等維持管理の強化を図ります。

項目	区域	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
給水件数	企業団	31,100件	30,800件	300件(1.0%)
	びわ	2,450件	2,460件	△10件(△0.4%)
	浅井	4,800件	4,780件	20件(0.4%)
	湖北	2,940件	2,930件	10件(0.3%)
	高月	3,660件	3,640件	20件(0.5%)
	木之本	2,180件	2,190件	△10件(△0.5%)
	余呉木之本	1,710件	1,710件	0件(0.0%)
	西浅井	1,620件	1,620件	0件(0.0%)
年間給水量	企業団	8,953,000m <sup>3</sup>	8,886,000m <sup>3</sup>	67,000m <sup>3</sup> (0.8%)
	びわ	1,263,000m <sup>3</sup>	1,330,000m <sup>3</sup>	△67,000m <sup>3</sup> (△5.0%)
	浅井	1,822,000m <sup>3</sup>	1,884,000m <sup>3</sup>	△62,000m <sup>3</sup> (△3.3%)
	湖北	1,142,000m <sup>3</sup>	1,238,000m <sup>3</sup>	△96,000m <sup>3</sup> (△7.8%)
	高月	1,493,000m <sup>3</sup>	1,605,000m <sup>3</sup>	△112,000m <sup>3</sup> (△7.0%)
	木之本	853,000m <sup>3</sup>	821,000m <sup>3</sup>	32,000m <sup>3</sup> (3.9%)
	余呉木之本	697,000m <sup>3</sup>	698,000m <sup>3</sup>	△1,000m <sup>3</sup> (△0.1%)
	西浅井	627,000m <sup>3</sup>	639,000m <sup>3</sup>	△12,000m <sup>3</sup> (△1.9%)
1年間に浄水場から送る水道水の量				

項目	区域	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
年間有収水量	企業団	7,909,000m <sup>3</sup>	7,817,000m <sup>3</sup>	92,000m <sup>3</sup> (1.2%)
	びわ	793,000m <sup>3</sup>	798,000m <sup>3</sup>	△5,000m <sup>3</sup> (△0.6%)
	浅井	1,221,000m <sup>3</sup>	1,248,000m <sup>3</sup>	△27,000m <sup>3</sup> (△2.2%)
	湖北	783,000m <sup>3</sup>	800,000m <sup>3</sup>	△17,000m <sup>3</sup> (△2.1%)
	高月	981,000m <sup>3</sup>	997,000m <sup>3</sup>	△16,000m <sup>3</sup> (△1.6%)
	木之本	603,000m <sup>3</sup>	635,000m <sup>3</sup>	△32,000m <sup>3</sup> (△5.0%)
	糸林本	424,000m <sup>3</sup>	437,000m <sup>3</sup>	△13,000m <sup>3</sup> (△3.0%)
	西浅井	403,000m <sup>3</sup>	437,000m <sup>3</sup>	△34,000m <sup>3</sup> (△7.8%)
水道料金の対象となった水量(消火、洗管、漏水等を除いた量)				
有収率	企業団	88.3%	88.0%	0.3P
	びわ	62.8%	60.0%	2.8P
	浅井	67.0%	66.3%	0.7P
	湖北	68.6%	64.6%	4.0P
	高月	65.7%	62.1%	3.6P
	木之本	70.7%	77.4%	△6.7P
	糸林本	60.8%	62.6%	△1.8P
	西浅井	64.2%	68.4%	△4.2P
浄水場からの給水量に対する有収水量の割合				
水道料金 (税抜)	企業団	1,405,426千円 (1,277,660千円)	1,367,321千円 (1,254,529千円)	38,105千円(2.8%) (23,131千円/1.8%)
	びわ	136,159千円 (123,781千円)	133,405千円 (122,401千円)	2,754千円(2.1%) (1,380千円/1.1%)
	浅井	207,838千円 (188,944千円)	199,800千円 (183,318千円)	8,038千円(4.0%) (5,626千円/3.1%)
	湖北	134,856千円 (122,596千円)	126,967千円 (116,493千円)	7,889千円(6.2%) (6,103千円/5.2%)
	高月	131,481千円 (119,528千円)	129,977千円 (119,255千円)	1,504千円(1.2%) (273千円/0.2%)
	木之本	137,978千円 (125,435千円)	141,806千円 (130,108千円)	△3,828千円(△2.7%) (△4,673千円/△3.6%)
	糸林本	75,687千円 (68,806千円)	75,231千円 (69,025千円)	456千円(0.6%) (△219千円/△0.3%)
	西浅井	69,344千円 (63,040千円)	72,403千円 (66,430千円)	△3,059千円(△4.2%) (△3,390千円/△5.1%)

### 3. 収益的収支

#### (1) 企業団水道事業

収入では、水道料金収入は横ばいとなる見込みです。公共事業に伴う水道管の支障移設のため受託工事収益が増加しています。収入全体では、わずかに増加する見込みです。

支出では、取水ポンプ等老朽化している浄水施設修繕のため原浄水費が、公共事業に伴う水道管の支障移設のため給配水費が増加します。また、企業債新規借り入れの減少や低金利により支払利息が減少します。支出全体では、ほぼ横ばいとなる見込みです。

収入	1,747,253千円	(消費税抜)	1,609,179千円)
支出	1,459,443千円	(消費税抜)	1,324,744千円)
差引	287,810千円	(消費税抜)	284,435千円)
	前年度繰越利益剰余金(予定)	708,820千円	(令和元年度までの剰余金)
	当年度未処分利益剰余金	993,255千円	(令和2年度末の剰余金)

#### 収益的収入および支出(企業団)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
水道事業収益	1,747,253	1,674,971	72,282(4.3%)
水道料金	1,405,426	1,367,321	38,105(2.8%)
受託工事収益	52,169	5,964	46,205(774.7%)
	公共事業などで水道施設(管)を移設するための補償金など		
受託事業収益	40,197	39,890	307(0.8%)
	上下水道納付書発行および収納業務、下水道への検針データ提供料		
加入金	49,104	47,542	1,562(3.3%)
負担金	19,184	25,652	△6,468(△25.2%)
	長浜市、米原市からの負担金		
長期前受金戻入	166,167	173,763	△7,596(△4.4%)
	新会計制度に伴う資本剰余金収益化額		
その他	15,006	14,839	167(1.1%)
	各種手数料、預金利息等		

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
水道事業費用	千円 1,459,443	千円 1,432,018	千円( %) 27,425( 1.9%)
原浄水費	260,551	234,585	25,966( 11.1%)
	浄水場や配水池などの運転および維持管理、水質検査などの費用		
給配水費	180,692	155,399	25,293( 16.3%)
	配水管や給水管の維持管理の費用		
業務費	120,378	111,657	8,721( 7.8%)
	検針、集金や窓口業務にかかる費用		
総係費	115,161	125,086	△9,925(△ 7.9%)
	議会、監査、広報、庁舎管理その他総務関係の費用		
減価償却費等	552,908	568,450	△15,542( △2.7%)
	内部留保として積み立て、施設の更新や借入金の返済に使用するもの		
支払利息	116,421	132,587	△16,166(△12.2%)
	企業債の利息の支払		
その他	5,249	5,007	242( 4.8%)
予備費	5,000	5,000	0( 0.0%)
消費税	103,083	94,247	8,836( 9.4%)

(税込み)

## (2) びわ上水道事業

収入では、全体としてほぼ横ばいとなる見込です。

支出では、落合配水場配水ポンプの改修のため原浄水費が、公共事業に伴う水道管の支障移設のため給配水費が増加しています。企業債の返済が進んだため支払利息が減少します。支出全体ではわずかに増加が見込まれます。

収入	164,206千円（消費税抜	151,539千円）
支出	121,689千円（消費税抜	109,022千円）
差引	42,517千円（消費税抜	42,517千円）
	前年度繰越利益剰余金（予定）	164,481千円（令和元年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	206,998千円（令和2年度末の剰余金）

## 収益的収入および支出（びわ）

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（ %）
びわ水道事業収益	164,206	162,033	2,173（ 1.3%）
水道料金	136,159	133,405	2,754（ 2.1%）
受託工事収益	2,364	2,255	109（ 4.8%）
受託事業収益	3,099	3,605	△506（△14.0%）
加入金	462	462	0（ 0.0%）
負担金	2,100	2,100	0（ 0.0%）
長期前受金戻入	18,994	19,535	△541（ △2.8%）
その他	1,028	671	357（ 53.2%）

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（ %）
びわ水道事業費用	121,689	117,105	4,584（ 3.9%）
原浄水費	33,165	28,310	4,855（ 17.1%）
給配水費	11,879	8,324	3,555（ 42.7%）
業務費	13,021	13,735	△714（ △5.2%）
総係費	914	886	28（ 3.2%）
減価償却費等	44,377	45,845	△1,468（ △3.2%）
支払利息	7,870	9,634	△1,764（△18.3%）
その他	497	532	△35（ △6.6%）
予備費	1,000	1,000	0（ 0.0%）
消費税	8,966	8,839	127（ 1.4%）

(税込み)

## (3) 浅井上水道事業

収入では、わずかに増加が見込まれます。

支出では、浄水設備計装点検のため原浄水費が、漏水修繕工事の増加により給配水費が増加します。検定満期(8年)に伴う水道メーター交換が少ない年にあたり業務費が、下水道と同時埋設を行った配水管の減価償却が終了しつつあるため減価償却費が、企業債の返済が進んだため支払利息と負担金が減少します。支出全体でも若干の減少が見込まれます。

なお、簡易水道時代の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する8,255千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	250,136千円 (消費税抜)	231,019千円
支出	223,979千円 (消費税抜)	204,862千円
差引	26,157千円 (消費税抜)	26,157千円
	前年度繰越利益剰余金(予定)	121,949千円 (令和元年度までの剰余金)
	当年度末未処分利益剰余金	148,106千円 (令和2年度末の剰余金)

## 収益的収入および支出(浅井)

収入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
浅井水道事業収益	250,136	240,400	9,736(4.0%)
水道料金	207,838	199,800	8,038(4.0%)
受託工事収益	128	1,074	△946(△88.1%)
受託事業収益	8,114	6,892	1,222(17.7%)
加入金	1,650	1,650	0(0.0%)
負担金	11,254	12,662	△1,408(△11.1%)
長期前受金戻入	19,914	17,220	2,694(15.6%)
その他	1,238	1,102	136(12.3%)

(税込み)

支出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
浅井水道事業費用	223,979	234,507	△10,528(△4.5%)
原浄水費	49,095	45,739	3,356(7.3%)
給配水費	12,536	11,271	1,265(11.2%)
業務費	17,315	21,001	△3,686(△17.6%)
総係費	1,500	1,454	46(3.2%)
減価償却費等	111,320	121,017	△9,697(△8.0%)
支払利息	17,294	19,986	△2,692(△13.5%)
その他	730	989	△259(△26.2%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	13,189	12,050	1,139(9.5%)

(税込み)

## (4) 湖北簡易水道

収入では、水道料金収入の増加が見込まれます。

支出では、漏水修繕工事の増加により給配水費が増加します。検定満期に伴う水道メーター交換が少ない年にあたり業務費が、電気設備等の減価償却が終了したため減価償却費が、企業債の返済が進んだため支払利息と負担金が減少します。支出全体では若干の減少が見込まれます。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する4,355千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	157,780千円 (消費税抜)	145,380千円)
支出	141,587千円 (消費税抜)	129,187千円)
差引	16,193千円 (消費税抜)	16,193千円)
	前年度繰越利益剰余金 (予定)	305,237千円 (令和元年度までの剰余金)
	当年度未処分利益剰余金	321,430千円 (令和2年度末の剰余金)

## 収益的収入および支出(湖北)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
湖北水道事業収益	157,780	150,835	6,945 ( 4.6%)
水道料金	134,856	126,967	7,889 ( 6.2%)
受託工事収益	128	1,074	△946 (△88.1%)
受託事業収益	4,303	4,365	△62 ( △1.4%)
加入金	902	902	0 ( 0.0%)
負担金	6,345	7,000	△655 ( △9.4%)
長期前受金戻入	10,152	9,246	906 ( 9.8%)
その他	1,094	1,281	△187 (△14.6%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
湖北水道事業費用	141,587	144,630	△3,043 ( △2.1%)
原浄水費	28,480	27,521	959 ( 3.5%)
給配水費	11,259	9,112	2,147 ( 23.6%)
業務費	4,445	5,594	△1,149 (△20.5%)
総係費	927	899	28 ( 3.1%)
減価償却費等	77,431	80,698	△3,267 ( △4.0%)
支払利息	8,606	10,102	△1,496 (△14.8%)
その他	630	1,820	△1,190 (△65.4%)
予備費	1,000	1,000	0 ( 0.0%)
消費税	8,809	7,884	925 ( 11.7%)

(税込み)

## (5) 高月上水道事業

収入では、公共事業に伴う基幹水道管の支障移設のため受託工事収益が増加します。収入全体でも増加が見込まれます。

支出では、浄水場自家発電設備の点検を行うため原浄水費が、公共事業に伴う基幹水道管の支障移設のため給配水費が増加しています。また、減価償却未計上資産を償却します。なお、高月上水道に統合された簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する813千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	221,581千円 (消費税抜)	205,809千円)
支出	238,853千円 (消費税抜)	223,081千円)
差引	△17,272千円 (消費税抜)	△17,272千円)
	前年度繰越利益剰余金 (予定)	202,026千円 (令和元年度までの剰余金)
	当年度未処分利益剰余金	184,754千円 (令和2年度末の剰余金)

## 収益的収入および支出(高月)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
高月水道事業収益	221,581	180,497	41,084 ( 22.8%)
水道料金	131,481	129,977	1,504 ( 1.2%)
受託工事収益	40,061	1,539	38,522 (2,503.1%)
受託事業収益	6,975	5,763	1,212 ( 21.0%)
加入金	1,056	1,056	0 ( 0.0%)
負担金	3,032	4,175	△1,143 ( △27.4%)
長期前受金戻入	37,660	36,960	700 ( 1.9%)
その他	1,316	1,027	289 ( 28.1%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
高月水道事業費用	238,853	187,021	51,832 ( 27.7%)
原浄水費	36,433	34,324	2,109 ( 6.1%)
給配水費	58,226	7,347	50,879 ( 692.5%)
業務費	18,119	17,706	413 ( 2.3%)
総係費	1,005	975	30 ( 3.1%)
減価償却費等	103,763	103,944	△181 ( △0.2%)
支払利息	12,615	13,220	△605 ( △4.6%)
その他	684	671	13 ( 1.9%)
予備費	1,000	1,000	0 ( 0.0%)
消費税	7,008	7,834	△826 ( △10.5%)

(税込み)

## (6) 木之本上水道事業

収入は、水道料金収入が減少しますが、公共事業に伴う水道管の支障移設により受託工事収益が増加するため、収入全体では横ばいになると見込まれます。

支出の面では、浄水設備計装点検のため原浄水費が、公共事業に伴う水道管の支障移設のため給配水費が、検定満期に伴う水道メーター交換が多い年に当たるため業務費が増加します。また、廃止施設の除却が未了であったため、10年間で除却を行います。支出全体では、若干の増加が見込まれます。

収入	191,666千円（消費税抜	178,348千円)
支出	215,616千円（消費税抜	202,298千円)
差引	△23,950千円（消費税抜	△23,950千円)
	前年度繰越利益剰余金(予定)	△199,404千円（令和元年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	△223,354千円（令和2年度末の剰余金）

## 収益的収入および支出(木之本)

収入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
木之本水道事業収益	191,666	189,973	1,693(0.9%)
水道料金	137,978	141,806	△3,828(△2.7%)
受託工事収益	7,978	3,016	4,962(164.5%)
受託事業収益	3,383	2,877	506(17.6%)
加入金	132	132	0(0.0%)
負担金	1,530	1,530	0(0.0%)
長期前受金戻入	40,103	40,075	28(0.1%)
その他	562	537	25(4.7%)

(税込み)

支出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
木之本水道事業費用	215,616	205,986	9,630(4.7%)
原浄水費	53,466	48,125	5,341(11.1%)
給配水費	15,139	7,916	7,223(91.2%)
業務費	5,033	3,164	1,869(59.1%)
総係費	667	647	20(3.1%)
減価償却費等	112,072	114,554	△2,482(△2.2%)
支払利息	20,262	21,669	△1,407(△6.5%)
その他	425	532	△107(△20.1%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	7,552	8,379	△827(△9.9%)

(税込み)

## (7) 余呉木之本簡易水道

収入では、公共工事に伴う水道管の支障移設が少なく受託工事収益等の減少するため、収入全体でも減少が見込まれます。

支出では、検定満期に伴う水道メーター交換が多い年に当たるため業務費が増加し、電気設備等の減価償却が終了したため減価償却費が減少します。支出全体として減少が見込まれます。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する3,156千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	124,163千円 (消費税抜)	117,205千円)
支出	135,087千円 (消費税抜)	128,129千円)
差引	△10,924千円 (消費税抜)	△10,924千円)
	前年度繰越利益剰余金 (予定)	54,334千円 (令和元年度までの剰余金)
	当年度未処分利益剰余金	43,410千円 (令和2年度末の剰余金)

## 収益的収入および支出(余呉木之本)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
余呉木之本水道事業収益	124,163	130,023	△5,860 ( △4.5%)
水道料金	75,687	75,231	456 ( 0.6%)
受託工事収益	66	3,649	△3,583 ( △98.2%)
受託事業収益	2,632	2,479	153 ( 6.2%)
加入金	374	374	0 ( 0.0%)
負担金	4,060	4,259	△199 ( △4.7%)
長期前受金戻入	40,938	43,621	△2,683 ( △6.2%)
その他	406	410	△4 ( △1.0%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 ( %)
余呉木之本水道事業費用	135,087	141,798	△6,711 ( △4.7%)
原浄水費	35,133	35,765	△632 ( △1.8%)
給配水費	8,573	7,710	863 ( 11.2%)
業務費	3,071	1,793	1,278 ( 71.3%)
総係費	347	337	10 ( 3.0%)
減価償却費等	77,071	84,492	△7,421 ( △8.8%)
支払利息	6,389	6,786	△397 ( △5.9%)
その他	433	441	△8 ( △1.8%)
予備費	1,000	1,000	0 ( 0.0%)
消費税	3,070	3,474	△404 ( △11.6%)

(税込み)

## (8) 西浅井簡易水道

収入では、大口利用者である施設が閉鎖されるため、水道料金収入の減少が見込まれます。

支出では、公共事業に伴う水道管の支障移設のため給配水費が、検定満期に伴う水道メーター交換が多い年にあたるため業務費が増加します。支出全体として増加が見込まれます。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する4,184千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	93,443千円（消費税抜	86,860千円）
支出	109,330千円（消費税抜	102,747千円）
差引	△15,887千円（消費税抜	△15,887千円）
	前年度繰越利益剰余金（予定）	7,598千円（令和元年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	△8,289千円（令和2年度末の剰余金）

## 収益的収入および支出（西浅井）

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円
西浅井水道事業収益	93,443	94,937	△1,494(△1.6%)
水道料金	69,344	72,403	△3,059(△4.2%)
受託工事収益	2,176	1,012	1,164(115.0%)
受託事業収益	3,086	2,345	741(31.6%)
加入金	374	374	0(0.0%)
負担金	5,189	5,656	△467(△8.3%)
長期前受金戻入	12,761	12,665	96(0.8%)
その他	513	482	31(6.4%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円(%)
西浅井水道事業費用	109,330	104,571	4,759(4.6%)
原浄水費	30,999	29,834	1,165(3.9%)
給配水費	8,993	5,305	3,688(69.5%)
業務費	4,162	1,905	2,257(118.5%)
総係費	384	374	10(2.7%)
減価償却費等	52,016	52,281	△265(△0.5%)
支払利息	8,430	9,378	△948(△10.1%)
その他	433	736	△303(△41.2%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	2,913	3,758	△845(△22.5%)

(税込み)

#### 4. 原価構成の状況

##### (1) 原価構成

木之本上水道事業、余呉木之本、西浅井簡易水道事業は、浄水場の建設や簡易水道統合事業等大規模な建設工事により資産規模が大きく減価償却費等が高いほか、膜処理施設の維持管理のため動力費や修繕料も高く、原価が極めて高くなっています。浅井上水道事業、湖北簡易水道事業は、簡易水道統合事業等大規模な建設工事により資産規模が大きく減価償却費等が高くなっています。全体として事業規模に比べ資産規模が大きく、施設のあり方を含め抜本的なコスト削減が必要です。

(単位：千円)

	企業団			びわ		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	386,741	35.0	48.9	25,383	29.0	32.0
支払利息	116,421	10.5	14.7	7,870	9.0	9.9
人件費	314,892	28.5	39.8	18,532	21.1	23.3
委託料	92,090	8.3	11.6	5,223	6.0	6.6
動力費	68,730	6.2	8.7	8,610	9.8	10.8
修繕料	56,356	5.1	7.1	11,894	13.6	15.0
薬品費	14,734	1.3	1.9	119	0.1	0.1
一般経費	56,503	5.1	7.1	10,006	11.4	12.6
計	1,106,467	100	139.9	87,637	100	110.5

(単位：千円)

	浅井			湖北		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	91,406	49.6	74.9	67,279	56.8	85.9
支払利息	17,294	9.4	14.2	8,606	7.3	11.0
人件費	15,260	8.3	12.5	5,965	5.0	7.6
委託料	15,365	8.3	12.6	7,526	6.3	9.6
動力費	19,650	10.7	16.1	9,400	7.9	12.0
修繕料	12,568	6.8	10.3	9,609	8.1	12.3
薬品費	145	0.1	0.1	88	0.1	0.1
一般経費	12,719	6.9	10.4	10,071	8.5	12.9
計	184,407	100	151.0	118,544	100	151.4

(単位：千円)

	高月			木之本		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	66,103	44.5	67.4	71,969	46.5	119.2
支払利息	12,615	8.5	12.9	20,262	13.1	33.6
人件費	17,289	11.6	17.6	9,566	6.2	15.9
委託料	7,841	5.3	8.0	16,251	10.5	26.9
動力費	16,650	11.2	17.0	17,370	11.2	28.7
修繕料	8,742	5.9	8.9	8,313	5.4	13.8
薬品費	462	0.3	0.5	1,327	0.9	2.3
一般経費	18,716	12.6	19.1	9,559	6.2	16.0
計	148,418	100	151.3	154,617	100	256.4

(単位：千円)

	余呉木之本			西浅井		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	36,133	41.6	85.2	39,255	44.8	97.5
支払利息	6,389	7.4	15.1	8,430	9.6	20.9
人件費	4,626	5.3	10.9	4,631	5.3	11.5
委託料	13,263	15.3	31.3	8,501	9.7	21.1
動力費	10,890	12.5	25.7	9,570	10.9	23.7
修繕料	7,664	8.8	18.1	8,295	9.5	20.7
薬品費	297	0.3	0.7	2,027	2.3	5.0
一般経費	7,536	8.7	17.7	6,966	7.9	17.2
計	86,798	100	204.7	87,675	100	217.6

※原価に算入されない費用を除く。

## (3) 給水原価と供給単価

企業団、びわ、浅井上水道事業と、湖北簡易水道事業は供給単価が給水原価を上回り、原価を水道料金で回収できていますが、高月、木之本上水道事業と余呉木之本、西浅井簡易水道事業は、供給単価が給水原価を下回り、原価を水道料金で回収できていません。高すぎる原価の抑制や低い料金の適正化が必要となります。

	企業団	びわ	浅井	湖北
給水原価 (円)	139.9	110.5	151.0	151.4
供給単価 (円)	161.5	156.1	154.7	156.6

	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
給水原価 (円)	151.3	256.4	204.7	217.6
供給単価 (円)	121.8	208.0	162.3	156.4

## 5. 資本的収入および支出

## (1) 企業団水道事業

踏切や河川の横断箇所の布設替えを行うほか、八条山第3配水池延命化工事のための概略設計、活性炭注入設備の更新や送水ポンプのインバータ化を行うため建設改良費が増加し、これらの財源としての企業債も増加しています。また、CADシステム、地図情報システムおよび水道料金システムの更新を行うため営業設備費が増加します。このうち、長浜市下水道事業部と共同利用している水道料金システムについては、長浜市から分担金が繰り入れされます。

収入	571,194千円	→	不足分補てん財源使用	
支出	1,321,119千円		消費税資本的収支調整額	60,605千円
差引	△749,925千円		当年度分損益勘定留保資金	386,741千円
			過年度分損益勘定留保資金	302,579千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(企業団)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
資本的収入	571,194	227,241	343,953(151.4%)
企業債	527,600	219,600	308,000(140.3%)
分担金	43,594	7,641	35,953(470.5%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
資本的支出	1,321,119	826,897	494,222(59.8%)
建設改良費	590,883	226,947	363,936(160.4%)
営業設備費	115,709	2,019	113,690(5,631.0%)
企業債償還金	609,527	592,931	16,596(2.8%)
予備費	5,000	5,000	0(0.0%)

(税込み)

## (2) びわ上水道事業

企業団水道事業に統合し給水を受けるため、川道および落合配水場改造工事の設計を行います。

収入	2,202千円	→	不足分補てん財源使用	
支出	113,088千円		消費税資本的収支調整額	5,273千円
差引	△110,886千円		当年度分損益勘定留保資金	25,383千円
			過年度分損益勘定留保資金	80,230千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(びわ)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
びわ資本的収入	2,202	2,946	△774(△25.3%)
企業債	0	0	0(0.0%)
分担金	2,202	2,946	△744(△25.3%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
びわ資本的支出	113,088	54,882	58,206(106.1%)
建設改良費	59,000	2,830	56,170(1,984.8%)
営業設備費	110	110	0(0.0%)
企業債償還金	52,978	50,942	2,036(4.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (3) 浅井上水道事業

配水管布設替え工事跡の舗装復旧工事を行い、この財源として企業債を借り入れます。このほか、過去の簡易水道統合事業等の企業債の返済を継続します。なお、簡易水道時代の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する41,974千円は長浜市から繰り入れされます。

収入	70,006千円	不足分補てん財源使用
支出	119,173千円	
差引	△49,167千円	

消費税資本的収支調整額	1,610千円
当年度分損益勘定留保資金	47,557千円
過年度分損益勘定留保資金	0千円
減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(浅井)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
浅井資本的収入	70,006	127,048	△57,042(△44.9%)
企業債	14,700	70,700	△56,000(△79.2%)
分担金	55,306	56,348	△1,042(△1.8%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
浅井資本的支出	119,173	195,204	△76,031(△38.9%)
建設改良費	29,715	105,580	△75,865(△71.9%)
営業設備費	132	132	0(0.0%)
企業債償還金	88,326	88,492	△166(△0.2%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (4) 湖北簡易水道

漏水の多発している西部地区において、配水管布設替工事を行い、この財源として企業債を借り入れます。このほか、簡易水道統合事業等による企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する31,679千円は長浜市から繰り入れられます。

収入	214,084千円	不足分補てん財源使用		
支出	247,694千円		消費税資本的収支調整額	16,658千円
差引	△33,610千円		当年度分損益勘定留保資金	16,952千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(湖北)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
湖北資本的収入	214,084	89,101	124,983(140.3%)
企業債	180,200	43,700	136,500(312.4%)
分担金	33,884	45,401	△11,517(△25.4%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
湖北資本的支出	247,694	125,618	122,076(97.2%)
建設改良費	184,240	71,702	112,538(157.0%)
営業設備費	119	119	0(0.0%)
企業債償還金	62,335	52,797	9,538(18.1%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (5) 高月上水道事業

漏水の多発している地区において、配水管布設替工事を行うほか、新規井戸水源の設計や建設工事を行います。このため建設改良費が増加し、これらの財源としての企業債も増加しています。なお、高月上水道事業に統合した簡易水道分の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する5,610千円は長浜市から繰り入れられます。

収入	138,433千円	不足分補てん財源使用		
支出	182,787千円		消費税資本的収支調整額	12,145千円
差引	△44,354千円		当年度分損益勘定留保資金	32,209千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(高月)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
高月資本的収入	138,433	109,514	28,919(26.4%)
企業債	130,600	101,000	29,600(29.3%)
分担金	7,833	8,514	△681(△8.0%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
高月資本的支出	182,787	158,762	24,025(15.1%)
建設改良費	134,600	112,880	21,720(19.2%)
営業設備費	121	121	0(0.0%)
企業債償還金	47,066	44,761	2,305(5.1%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (6) 木之本上水道事業

大規模な建設改良工事の予定はなく、大音浄水場建設等による企業債の返済を継続します。

収入	2,148千円	不足分補てん財源使用	
支出	77,365千円		
差引	△75,217千円		
		消費税資本的収支調整額	455千円
		当年度分損益勘定留保資金	71,969千円
		過年度分損益勘定留保資金	2,793千円
		減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(木之本)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
木之本資本的収入	2,148	2,946	△798(△27.1%)
企業債	0	0	0(-%)
分担金	2,148	2,946	△798(△27.1%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
木之本資本的支出	77,365	83,946	△6,581(△7.8%)
建設改良費	4,000	11,830	△7,830(△66.2%)
営業設備費	104	149	△45(△30.2%)
企業債償還金	72,261	70,967	1,294(1.8%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (7) 余呉木之本簡易水道事業

漏水の多発している余呉地区において、配水管布設替工事を行い、この財源として企業債を借り入れます。また、過去の事業に対する企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する20,632千円は長浜市から繰り入れられます。

収入	62,708千円	→	不足分補てん財源使用	
支出	88,705千円		消費税資本的収支調整額	3,909千円
差引	△25,997千円		当年度分損益勘定留保資金	22,088千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(余呉木之本)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
余呉木之本資本的収入	62,708	24,908	37,800(151.8%)
企業債	40,000	2,500	37,500(1,500.0%)
分担金	22,708	22,408	300(1.3%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
余呉木之本資本的支出	88,705	45,374	43,331(95.5%)
建設改良費	44,000	5,330	38,670(725.5%)
営業設備費	107	119	△12(△10.1%)
企業債償還金	43,598	38,925	4,673(12.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## (8) 西浅井簡易水道事業

配水管布設替え工事跡の舗装復旧工事を行い、この財源として企業債を借り入れます。このほか、過去の事業に対する企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する37,941千円は長浜市から繰り入れられます。

収入	57,525千円	→	不足分補てん財源使用	
支出	98,277千円		消費税資本的収支調整額	1,868千円
差引	△40,752千円		当年度分損益勘定留保資金	38,884千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

## 資本的収入および支出(西浅井)

収 入	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
西浅井資本的収入	57,525	49,505	8,020(16.2%)
企業債	17,500	10,600	6,900(65.1%)
分担金	40,025	38,905	1,120(2.9%)

(税込み)

支 出	R2年度当初予算	R1年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
西浅井資本的支出	98,277	86,496	11,781(13.6%)
建設改良費	21,550	13,470	8,080(60.0%)
営業設備費	107	107	0(0.0%)
企業債償還金	75,620	71,919	3,701(5.1%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

## 6. 令和2年度事業計画

### (1) 経営の持続

#### ① 水道事業の統廃合に伴う下坂浜浄水場配水区域拡大関連工事

- ・ 豊公園配水場配水ポンプインバータ化工事 企業団 87,000千円  
長浜水道企業団水道事業にびわ上水道事業と小今賀簡易水道事業を統合し、下坂浜浄水場の配水区域を旧びわ町全域と旧湖北町小今、賀へ拡大するため、配水量の増加が見込まれる豊公園配水場の配水ポンプをインバータ化します。
- ・ 川道、落合配水場改造工事 びわ 50,000千円  
下坂浜浄水場からの水を旧びわ町区域へ安定して配水するため、川道、落合配水場の改造を行うもので、令和2年度は、設計業務を委託します。

#### ② 水道事業の統廃合に伴う高月浄水場配水区域拡大関連工事

- ・ 高月浄水場取水施設増設工事 高月 98,800千円  
高月上水道事業区域の安定給水を図りながら、高月浄水場区域を木之本上水道事業区域へ拡大するため高月浄水場の増強を行うもので、新規取水施設(井戸)の設計および工事を行います。

### (2) 安定した給水

#### ① 八条山配水池延命化工事

- 企業団 12,650千円  
八条山第3配水池の延命化工事を行うもので、令和2年度は、補強の方法や進め方を検討するための概略設計業務を委託します。

#### ② 八条山第3配水池送水管布設替工事

- 企業団 50,000千円  
下坂浜浄水場から八条山第3配水池への送水管の布設替工事を行うもので、令和2年度は、配管ルートや口径、施工方法を検討する概略設計業務を委託します。

#### ③ 配水方法見直しの検討

- ・ 余呉木之本簡易水道事業中央浄水場配水区域再編事業 余呉木之本 41,100千円  
余呉木之本簡易水道事業中央浄水場配水区域において、八戸配水池の廃止とこれに伴う配管整備について検討を行うもので、概略設計を委託し、布設替工事を行います。
- ・ 西浅井簡易水道事業集福寺配水区域再編事業 西浅井 1,100千円  
西浅井簡易水道事業集福寺配水区域において、塩津中継ポンプ場の廃止とこれに伴う配管整備について検討を行うもので、概略設計を委託します。

④ 配水管整備事業

企業団、びわ、浅井、湖北、高月、木之本、余呉木之本、西浅井

689,330千円

漏水の危険性の高い配水管の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる配水管の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を行います。

特に、湖北西部簡易水道事業および高月上水道事業においては、漏水多発地区での送配水管更新のための設計業務委託および布設替工事を行うため、湖北簡易水道事業については5年間の、高月上水道事業については4年間の継続事業として実施します。

(3) 水道水の安全性の確保

① 下坂浜浄水場活性炭注入設備更新工事

企業団 103,300千円

プランクトンによる生臭臭やカビ臭を防止するため、下坂浜浄水場の活性炭注入設備を更新するもので、設計および工事を行います。

② 膜モジュール薬品洗浄

木之本 6,820千円

余呉木之本 3,388千円

膜ろ過施設を有する浄水場5箇所において、令和2年度は、膜モジュールの交換はなく、木之本、菅並、中河内の各浄水場で膜モジュールの薬品洗浄を行う予定です。

(4) その他の事業

電算機器およびソフト更新

企業団 109,315千円

Windows7のサポートが終了したことにより、企業団が使用する水道料金システム、地図情報システム、設計積算CADシステムについても今後ソフトのサポートが終了することから、各システムのサーバー、クライアントその他関連機器、職員に配付しているノートパソコンを更新するものです。